



第 484 回（5 月臨時）福崎町議会

福崎町長 尾崎 吉晴

皆さんおはようございます。

第 484 回福崎町議会臨時会の開催にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

新緑が目にもまぶしい、いつも通りのすがすがしい季節を迎えています。しかしながら、橋本町長が逝去されるという誰も想像していなかった悲しい出来事が起こりました。この緊急事態に、町政を停滞させることはできない、町政の継続性が今は一番大事だ、との多くの町民の皆様の声を受け、私は町長選挙への立候補を決意しました。

この選挙は橋本町政の3年3か月を評価していただく選挙になると考えていましたので、当選できたことを大変うれしく思っています。ご支援をいただきました町民の皆様に心から感謝とお礼を申し上げますとともに、町長としての重責に身が引き締まる思いであります。

私は、橋本町長から大きな財産を引き継いでいます。それは第5次総合計画・後期基本計画であります。この計画は今年3月に策定し議会の承認を得たもので、平成31年4月から向こう5年間の町の進むべき方針を示しています。私はこの計画を着実に、堅実に進めていきたいと思っています。

総合計画の基本理念は、自立（律）のまちづくりを基本に参画と協働により調和のとれたまちづくりを進めることです。私はそのためにも公平・公正で住みよい町づくりをめざしてまいります。性別の違い、障害のあるなし、立場の違いなどにかかわらない、公平・公正な行政を進めてまいります。そのことが住民の皆様から信頼される行政につながると思うからであります。

選挙中は、詳しくお話しすることができなかつたのですが、私の思いの一端を述べさせていただきます。

近年は、少子高齢化、人口減少や自然災害の多発など日本の社会全体が経験したことのないような課題に直面しています。福崎町におきましても、これらの時代の変化への対応が必要となっております。

福崎町は町制施行から60年余りが経ちますが教育、文化、福祉を大切にしてきました。まずはこの原点を忘れないように町政を進めていきたいと思っています。子どもたちがのびのびと育ち、若い世代がはつらつと働き、高齢者が生き生きと暮らせる町づくりを進めていきたいと考えています。

2点目は、自然災害への備えの必要性です。地球環境の変化による影響が顕著になり、自然災害の多い時代になってきました。特に、台風や、ゲリラ豪雨は必ず毎年発生しますし規模も大きくなっています。これらに対応する公共下水の雨水幹線整備などを進め、安全・安心を確かなものにしてまいります。

3点目は、駅周辺整備事業はほぼ完成しましたが、これからは駅周辺や町全体の賑わいづくりの取り組みが必要だと感じています。それには、駅前と辻川の観光交流センターを核としたおもてなし体制の充実や駅へのアクセス道路の整備、駅前への商業施設の誘致が必要であると考えています。

このような観点を踏まえて、活力あふれる住みよい町づくりに向けて全力で取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

また、このたびの町議会議員補欠選挙では、竹本繁夫さんが当選をされました。おめでとうございます。行政と議会が果たすべき役割は違いますが、お互いに緊張関係を保ちながら住民の幸せのために自治体運営にあたっていきたいと思います。

さて、本日の議会には、議案5件を提案しております。

(略)

詳しい内容については、各担当課長が行いますので、充分ご審議のうえ、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。